

校長コンビ「教育に笑いを」

コントに挑戦「ザ・コウチョーズ」

長崎県校長会であす披露



コントの練習をする「ザ・コウチョーズ」の松瀬伸吾さん(左)と吉本哲也さん

があるため打診を受けた吉本さんと、志願した松瀬さんに大役が任された。

海老原さんが2人に台本を渡したのは4月23日。医者と患者の役に分かれ、約10分間、ジェスチャーを交えながら掛け合いを進める練習を重ねてきた。

「ザ・コウチョーズ」。こんな名前の異色コントコンビが誕生した。長崎県佐世保市内の小学校校長2人が11日、同市内である県校長会研究大会佐世保大会限定でコントを披露するために結成した。同市の高一同級生殺害事件など悲惨な少年事件が起きた県内。「笑いで教育の場を和やかに」と2人は意気込んでいる。

校長は松瀬伸吾さん(55)と吉井南小と吉本哲也さん(59)と宮小。放送作家としてザ・ドリフターズやたけし軍団などのコント台本を手掛けた同市の海老原靖芳さん(65)が、大会で「笑

いの力」をテーマに講演するのに当たり、「どうせなら実際にやってみよう」とコントの実演を提案。大学時代に演劇経験

大会本番の「観客」は、小中学校校長ら約500人。吉本さんは不安を見せつつ「勢いで乗り切る」とやる気満々。松瀬さんも「人間関係をつくるのが難しい時代の中で、ユーモアがあると関係がうまくいくのでは。コントから自分自身が学べる」と真剣だ。海老原さんは「トップの校長が笑いを大切にすれば、学校全体も和やかな空気になるはず」と話す。

1日限りのコンビだが、校長たちに大受けすれば再結成があるかも。さあ、行ってみよう。(後藤希)